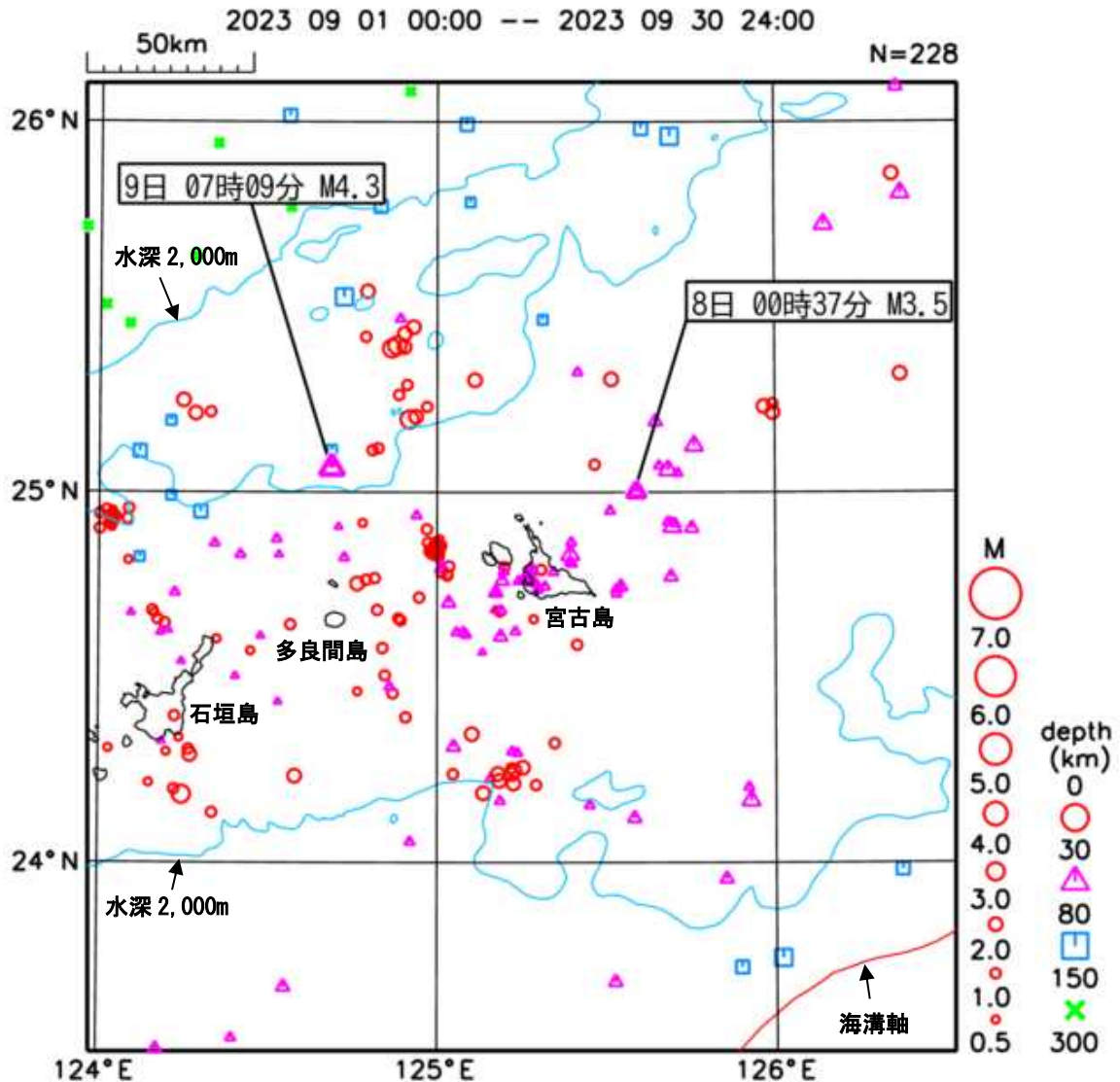


宮古島地方の地震活動図

令和5年（2023年）9月

宮古島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です）
宮古島地方で震度1以上の地震を観測した場合は、吹き出しで示しています。

【概況】

今期間（9月）、宮古島地方で震度1以上を観測した地震は3回（8月は1回）でした。

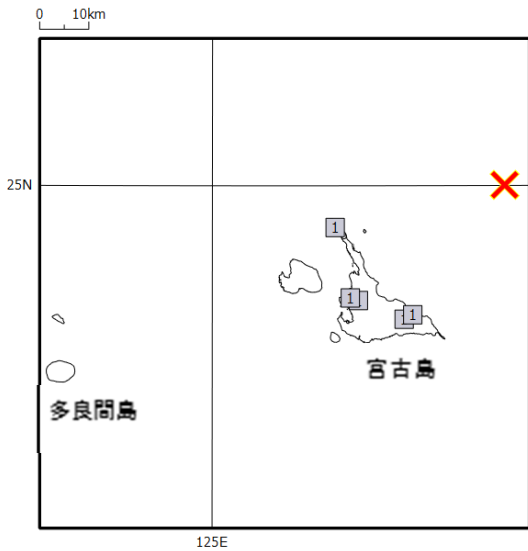
8日00時37分に宮古島近海で発生した地震（M3.5、深さ54km）により、宮古島で震度1を観測しました。

9日07時09分に宮古島近海で発生した地震（M4.3、深さ79km）により、宮古島から石垣島にかけて震度1を観測しました。

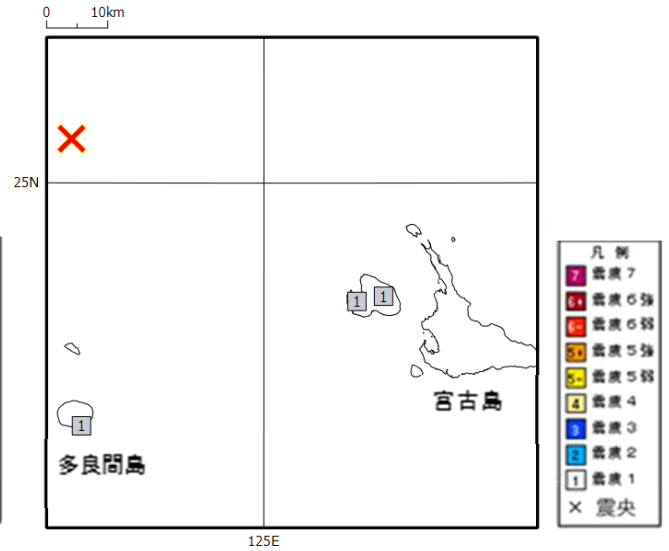
18日22時21分に宮古島北西沖で発生した地震（M6.5、深さ182km）により、宮古島市で震度3を観測したほか、鹿児島県奄美大島から波照間島にかけて震度3から1（多良間島は震度2）を観測しました（震央分布図範囲外、別紙参照）。なお、宮古島市で震

度3以上を観測した地震は、2023年8月16日の宮古島近海で発生したM4.6の地震（最大震度3）以来です。

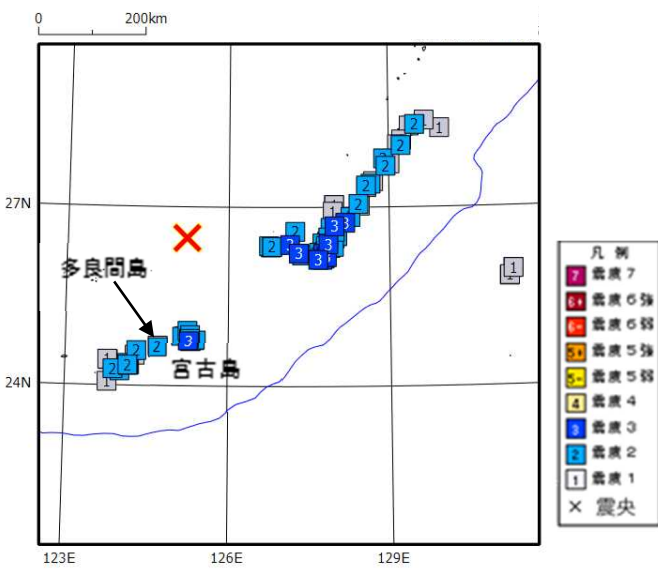
【震度分布図】



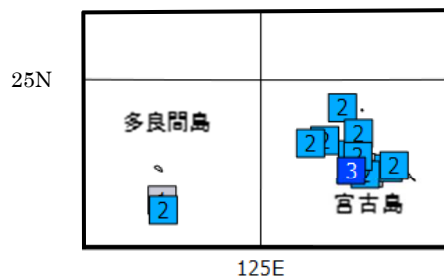
9月8日00時37分 宮古島近海 深さ54km M3.5



9月9日07時09分 宮古島近海 深さ79km M4.3



全体震度分布図



宮古島地方の拡大震度分布図

9月18日22時21分 宮古島北西沖 深さ182km M6.5

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:9月1日~30日)

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2023年09月08日00時37分	宮古島近海	25° 00.0' N	125° 35.3' E	54km	M3.5
沖縄県	震度 1 : 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市城辺福西 * 宮古島市平良西里 *				
2023年09月09日07時09分	宮古島近海	25° 03.9' N	124° 41.2' E	79km	M4.3
沖縄県	震度 1 : 多良間村塩川, 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市下地島空港 *				
2023年09月18日22時21分	宮古島北西沖	26° 28.7' N	125° 13.2' E	182km	M6.5
沖縄県	震度 3 : 宮古島市下地 * 震度 2 : 多良間村塩川, 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市平良狩俣 *, 宮古島市城辺福西 * 宮古島市上野支所 *, 宮古島市平良西里 *, 宮古島市下地島空港 * 震度 1 : 多良間村仲筋 *, 宮古島市上野新里				

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※宮古島地方の震度観測点のみ記載しています。

※ 資料中のデータについて

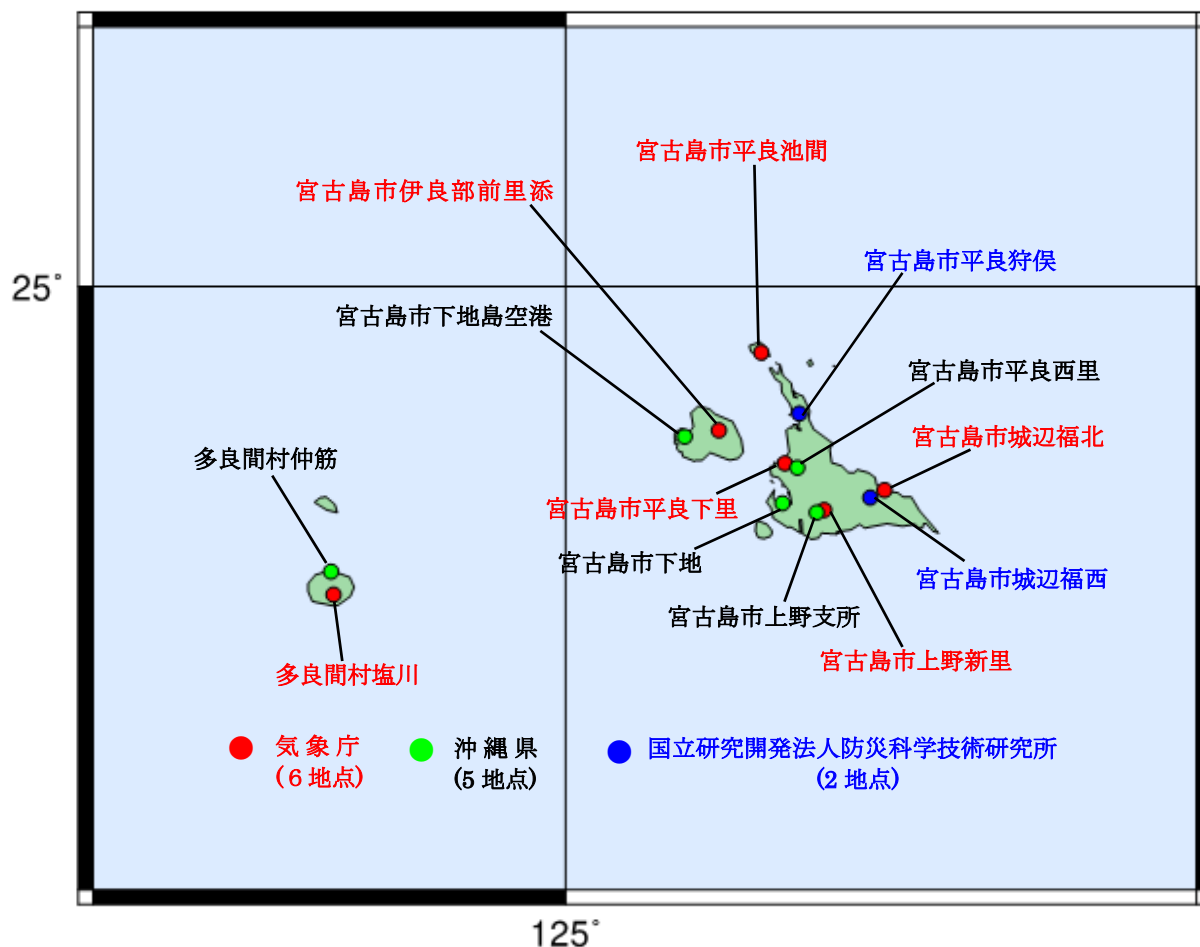
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

宮古島地方の震度観測地点



○ 宮古島地方の地震活動図

URL <https://www.data.jma.go.jp/miyako/topix/earthquake.html>

過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054

○ 防災一口メモ

URL <https://www.data.jma.go.jp/miyako/topix/memo.html>

季節ごとに注意すべき自然現象や、防災情報の利活用方法について解説しています。

○ 震度1以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

上記各種 QR コード

(地震活動図)



(防災一口メモ)



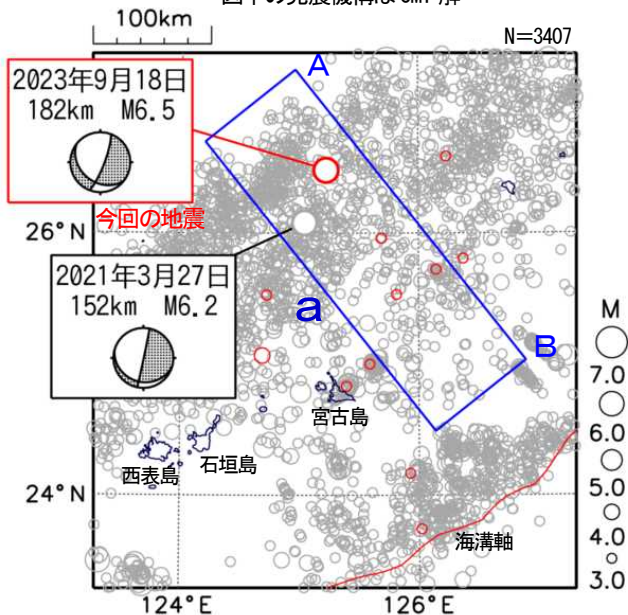
(震度分布図)



9月18日 宮古島北西沖の地震

震央分布図

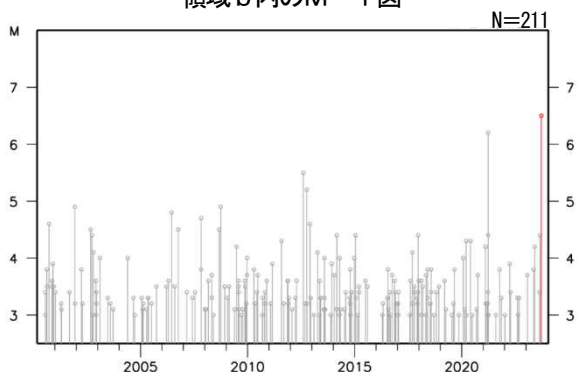
(2000年7月1日～2023年9月30日、
深さ50km～250km、 $M \geq 3.0$)
2023年9月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



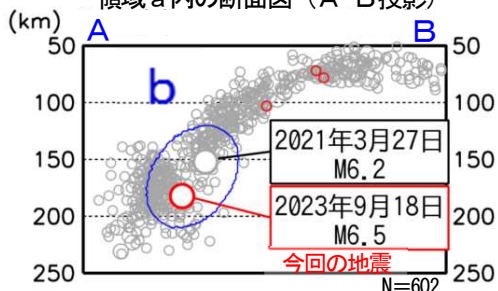
2023年9月18日22時21分に宮古島北西沖の深さ182kmでM6.5の地震 (最大震度3) が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、フィリピン海プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

2000年7月以降の活動をみると、今回の震央付近 (領域b) では、M6.0以上の地震が今回の地震を含めて2回発生しており、もう一つは2021年3月27日にM6.2の地震 (最大震度2) が発生している。

領域b内のM-T図



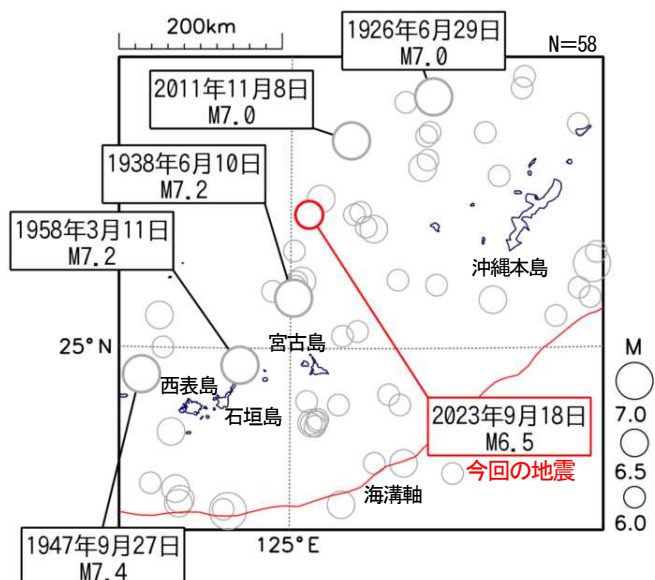
領域a内の断面図 (A-B投影)



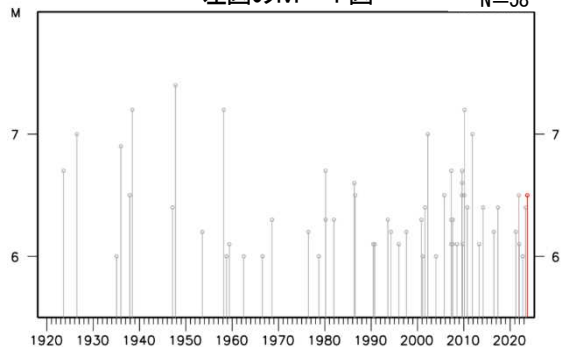
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、過去にM6.0以上の地震が時々発生しており、1938年6月10日にM7.2の地震 (最大震度4) が発生し、宮古島平良港で1.5mの津波があり、栈橋の流出などの被害があった。また、1958年3月11日にM7.2の地震 (最大震度5) が発生し、先島諸島で死者2人、負傷者4人のほか家屋損壊等の被害が生じた (被害は、「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

(1919年1月1日～2023年9月30日、
深さ0km～250km、 $M \geq 6.0$)
2023年9月の地震を赤色で表示



左図のM-T図



(この期間は検知能力が低い)